

高機能・薬用成分を味方にした トータルケアをこの1本で!

歯磨きテクニックを求める前の必須アイテム

神奈川県 聖母歯科医院 歯科衛生士
株式会社T*SIS 代表
豊山 とえ子



はじめに

国民の歯磨き習慣が約95%まで定着してきたことは^{1)、2)}、非常に感慨深いことである。しかしながら、「磨いているのに歯周病になってしまった」「磨いているのにむし歯になってしまった」、といった患者さんの「磨いているのに……なぜ?」の疑問を払拭し切れていない現状を重く受け止めている。

治療や予防にあまり積極的になれない患者さんは、歯磨きにおいて最小限の負担(時間・複雑・面倒・価格)を強く求める傾向がある。

その一方、歯磨き大好き、歯磨剤の使い分けなどお手の物といういわゆる歯磨きオタクな患者さんに、磨き過ぎによる不要な侵襲が生じるおそれも見

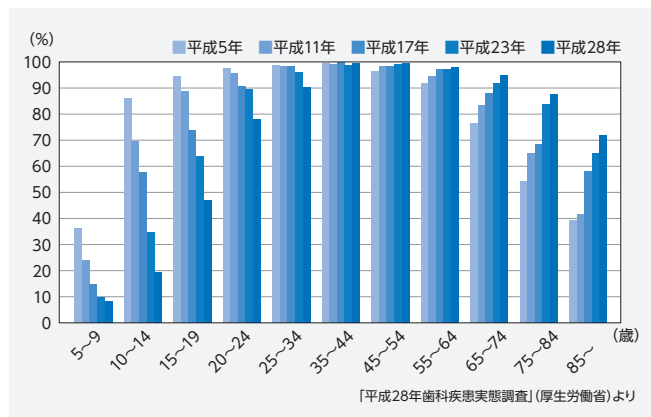
逃せない。口腔内環境が整えば整うほど、プラークコントロールにかかる労力の軽減、時間の短縮、侵襲の危険回避の観点からの対応も必要となり、それは歯科医療従事者の役目でもある。

多数の歯を生涯残す人が増えてきたということもあり、45歳以上のう蝕保有者率(図A)や歯周ポケットを有する者(図B)の割合も増えている。

このような経緯から、歯周病にとどまらず歯根面う蝕をはじめとする“おとなのむし歯”への対応が急務である。手軽でありながら効果が期待できる製品の選択、患者さんに喜ばれるセルフケアの提案は、今後より強く求められるものと思われる。

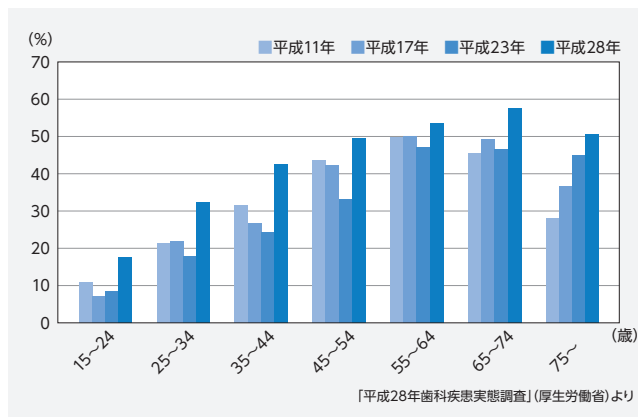
2017年3月に医薬部外品として、フッ化物イオン濃度の上限を1,500ppmとする高濃度フッ化物配合歯磨剤の販売が厚生労働省により認められたことは、患者さんにとっても歯科業界にとっても朗報となった。

このたびジーシーから発売された歯磨剤「おとなのトータルケア歯みがきジェル」は、1,450ppmの高濃度のフッ化物を配合し、かつCPCやIPMPなどの様々な薬用成分を含み、う蝕や歯周病など口腔疾患に対する幅広いアプローチを可能としている(表A)。今回はこの歯磨剤の効果的な使用法をご紹介します。



図A う蝕を持つ者の割合の年次推移 (永久歯:5歳以上)。

注)平成5年(1993年)以前、平成11年(1999年)以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる。



図B 4mm以上の歯周ポケットを有する者の割合の年次推移。

効能	薬用成分
歯質強化・う蝕予防	フッ化ナトリウム
殺菌(う蝕・歯周病・口臭予防)	CPC(塩化セチルピリジニウム)、 IPMP(イソプロピルメチルフェノール)
抗炎症作用(歯周炎予防)	グリチルリチン酸ジカリウム
知覚過敏の抑制	硝酸カリウム
ステイン除去・歯石沈着抑制	ポリリン酸ナトリウム

表A 「おとなのトータルケア歯みがきジェル」の主な効能と配合成分。

基本的な使用法



図C 歯磨き時に「おとなのトータルケア歯みがきジェル」を用いる。本製品は垂れにくく、扱いやすくなっている。また、研磨剤・清掃剤フリーは、患者さんの安心材料のひとつになっている。



図D ジェルを歯面全体になじませることで、作用時間が確保できる。これにより、フッ化物の高リリース、IPMPのバイオフィルム内への浸透など、薬効を十分に活かすことができる。

症例1 歯根の露出がありハイリスクなケース



図1-1 エナメル質が薄めで、一部歯根が露出している患者さん。初期う蝕、くさび状欠損、知覚過敏が認められ、7/7には出血もあった。また、歯面の凹凸部、歯列不正部のプラークコントロールが困難と見受けられた。

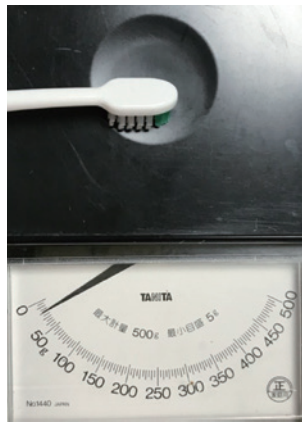


図1-2 「おとなのトータルケア歯みがきジェル」を正しく作用させることで、約20g程度のブラッシング圧でもプラークの除去が可能である。



図1-3 「おとなのトータルケア歯みがきジェル」を用いてブラッシングをした状態。染め出しを行ったことで、バイオフィルムの破壊がスピーディであることが確認できた。



図1-4 1週間「おとなのトータルケア歯みがきジェル」を使用した患者さんによると、プラークやステインが付きにくくなった感じがしたとのこと。これは、フッ化物イオンリリース力の高さによる歯質強化やプラークの付着しにくさ、ポリリン酸ナトリウムの効果によるステインの分解や再付着しにくさによるものだと推察される。

症例2 歯を白くしたいが知覚過敏が認められるケース



図2-1 患者さんの歯には破折部があり、知覚過敏症状が重篤のため、ホワイトニングを諦めていた。



図2-2 1ヵ月間「おとなのトータルケア歯みがきジェル」をセルフケアで使用してもらったところ、歯の表面がツルツルになり、舌触りが良くなったとのこと。結果として、しみることなく歯の色調が若干明るくなったことを喜んでいました。この症例から、薬効成分の総合的効果を実感できた。

応用的な使用法 (時間がない時、口臭が気になる時、歯ブラシを当てたくない時などのケア)



図E 「おとなのトータルケア歯みがきジェル」を手の甲などに出し指先に移す。



図F ジェルを指で舌に乗せる。なお、舌ブラシと組み合わせての舌ケアも非常に効果的である。IPMPIによるバイオフィルム内の殺菌効果が期待できる。



図G ジェルを歯面全体にのばす。このとき、舌苔の殺菌効果も期待できる。ジェルが口腔内に広がっていく瞬間から、スッキリしていく感じがする、といった感想も寄せられている。



図H たまってきた唾液でチュクチュク、ブクブクしながら、30秒～1分程度口腔粘膜、歯面、舌にジェルの成分を作用させる。CPCは口腔内に浮遊する細菌の殺菌効果が高い。



図I 時間になったらたまった唾液を全て吐き出し、10～15ccの水で5～30秒、1回だけブクブクうがいをして吐き出す。その後1時間程度は飲食を避けるのが好ましいが、起床時などは本人の意思に委ねるとよい。

おわりに

「おとなのトータルケア歯みがきジェル」のその他の応用として、歯間ブラシとの併用は、高密着性ジェルが非常に使いやすく有効である。また、「ケアデザイン レストア」(図J)などのイオン放出型充填材料を充填した際には、治療箇所へのイオン供給などリチャージ効果も期待できる³⁾。

本製品における、フッ化物イオンの放出のスピーディさや吸着性の高さ、高密着ジェルにより唾液に溶けにくく薬用成分が歯面に浸透しやすいといった特長(図K)は、患者さんにとっても歯科医療従事者にとっても救いである。しかしながら、タバコのヤニや硬い着色沈着物に対しては、「ルシエロ 歯みがきペースト ホワイト」の応用や、プロフェッショナルケアによる除去も必要である。

歯科医院の事情によっては、新製品に意識を向ける余裕がない場合もあるかもしれない。また、これ以上在庫品の種類を増やしたくないといったスタッフ側の意見も聞こえてきそうだが、ここで一言、言わせていただこう。

「患者さんは楽しんで良くなりたい!できれば安く。」

もちろん、迅速な改善を期待するために必要な製品については、患者さんの意思を尊重しつつ落とし所を決めていくことも随時求められるのは当然のことである。

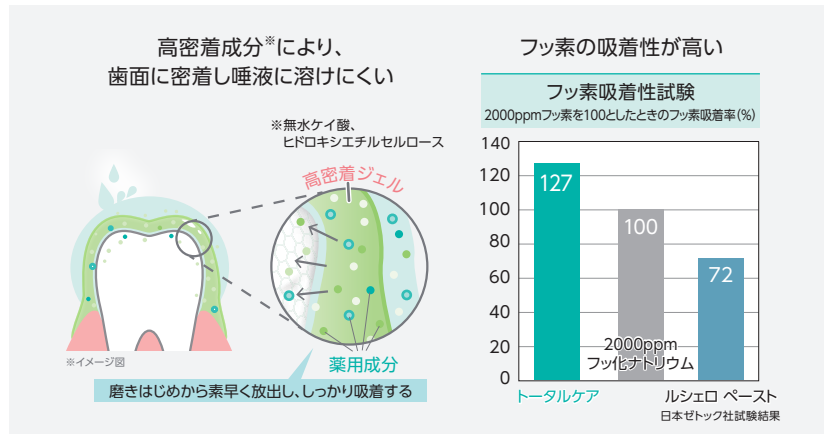
患者さんの「そんなの無理」から「それならできるかも」へ。さらに「やります」から「できた〜♪」をサポートできた時、患者さんの笑顔は歯科医療従事者にとって最高のご褒美となる。

本製品はジェルの垂れがないことで薬用成分を可能なかぎり歯面にとどめることができ、正しく使うことで効率的で効果的なプラーク除去と歯質・口腔環境の改善を可能にしている。高機能の薬用成分配合歯磨剤が、歯磨き下手な患者さんの救いにも、また研磨剤フリーであることから歯磨き好きの磨き過ぎによる侵襲を解消する手段のひとつにもなるだろう。

1本でトータルケアができることは患者さんにとっても提案する側にとってもシンプルで分かりやすい。手軽だからこそ続けられる原動力になる。本製品が、双方が目指す健康な口腔で快適な日常生活の一助になることを願う。



図J 「ケアデザイン レストア」の製品写真。



図K 「おとなのトータルケア歯みがきジェル」の特徴。

●参考文献

1. 厚生省大臣官房統計情報部、平成5年保健福祉動向調査、1993
2. 歯の健康/厚生労働省
3. 社会保険研究所、日本口腔衛生学会フッ化物応用委員会 編、う蝕予防の実際、フッ化物 局所応用、実施マニュアル



豊山 とえ子 (とやま とえこ)

神奈川県 聖母歯科医院 歯科衛生士
株式会社T*SIS 代表

略歴・所属団体◎日本女子衛生短期大学(現 湘南短期大学)卒業、1983年 歯科衛生士として聖母歯科医院勤務、2002年 LDA理事就任、2006年 株式会社T*SIS設立 代表取締役就任、2006年 米
国審美歯科学会発表、2008年 東京医科歯科大学歯科同窓会 学術部C.D.E講演会発表
日本歯科審美学会 ホワイトニングコーディネーター/日本医療機器学会 第二種滅菌技士/日本顎
咬合学会 認定歯科衛生士/日本ほめ育協会 ジュニアコンサルタント